

(ii) 改善の基本方針

- 望ましい集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養い、社会性の育成を図るという特別活動の特質を踏まえ、特によりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視する。また、道徳的実践の指導の充実を図る観点から目標や内容を見直す。

「人間関係を築く力」「社会に参画する態度や自治的能力の育成」ということが、今回、特に重視されているということです。

そのために国としてはどういう手立てをうつか、については、同じく次のように述べられています。

- 特別活動の各内容のねらいと意義を明確にするため、各内容に係る活動を通して育てたい態度や能力を、特別活動の全体目標を受けて各内容の目標として示す。
- 子どもの自主的、自発的な活動を一層重視するとともに、子どもの実態に適切に対応するため、発達や学年の段階や課題に即した内容を示すなどして、重点的な指導ができるようにする。その際、道徳や総合的な学習の時間などとの有機的な関連を図ったり、指導方法や教材を工夫したりすることが必要。
- 自分に自信がもてず、人間関係に不安を感じていたり、好ましい人間関係を築けず社会性の育成が不十分であったりする状況が見られたりすることから、それらにかかわる力を実践を通して高めるための体験活動や生活を改善する話し合い活動、多様な異年齢の子どもたちからなる集団による活動を一層重視する。特に体験活動については、体験を通して感じたり、気付いたりしたことを振り返り、言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動を重視する。

特別活動の「学習効果」について、今ひとつ明らかにできていない部分があります。その結果、「特活って、遊んでるだけでしょ？」というように言われることも多々あるというわけです。

先日、上越教育大学准教授の赤坂氏から次のようなメールをもらいました。

=====

やっぱり特別活動は、具体的な「成果」「事実」を出すべきだと思います。

話し合い活動とかイベント活動とかってエピソードでしか語られないでしょう。だから、説得力が弱い。(中略) PISA型学力を高める特別活動みたいな方向で提案したら、先生方も飛びつくかも知れませんね。そこまで行かなくても、学力との相関を考えるべきかなと思います。

ちなみに、わたしの学級は、国語と算数の市販テストの平均はほぼ90点でした。しかし、これはクラス会議との相互作用という証明はできません。しかし、やる気の得点が極めて高いことから、学習意欲が高かったことは言えます。

また、特活教師は教科の授業づくりも熱心であるとも言えるかも知れません。そんな方向で、特活を学級づくりや学力向上と結びつける方向で会をつくったらいかがですか。面白いかも知れませんよ。以上、思いつきです。

エ 一人一人の自発的な思いや願いが尊重され、互いの心理的な結びつきが強いこと。

オ 成員相互の間に所属感や所属意識，連帯感や連帯意識があること。

カ 集団の中で，互いのよさを認め合うことができ，自由な意見交換や相互の関係が助長されるようになっていること。

~~~~~

これは，これまでの解説書にも書かれていたものですが，なかなか浸透しないようです。

私は，このことから「学級目標を子どもたちとつくること」「学級の中で話し合い活動が効果的に行われるように仕組むこと」「係活動を活性化し，学級生活をよりよくすること」の3つを確実に実行することが大切だと考えています。

この一つ一つを確実に実現していければ，日本中の学級からいじめや不登校が大きく減っていくと信じています。

-----

### 3 夏の研修会より

山口市立平川小学校 梶田崇晴

-----

夏休みも終わり，2学期がスタートしました。この夏休み，特活について2つのところでお話をするチャンスをもらいました。一つは熊本県で，もう一つは鳥取県でした。

熊本でのテーマは「話し合い活動を活性化するアイデア」というもので，鳥取でのテーマは「教師の既存のフレームを壊す集会づくり」というものでした。

2つとも初めてのテーマでしたが，これまで自分がやってきたことをもとに，お話をさせてもらいました。せっかくですので，それらのことについて，このメルマガで紹介してみることにしました。次号以降，書き綴っていこうと思いますので，ご期待ください。

-----

### 4 メルマガ編集部からのお知らせ

-----

#### ◆次号の予告◆◇◆

第64号は9月中旬ごろ発行予定です。

次号は，「夏の研修会より」というテーマで，まず熊本県でお話ししたことをお知らせします。

#### ◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は225名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じ

ています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

本年度中に特別活動の年間計画をつくる必要があります。そのあたりについても可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小） 津村元文（美祿市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学教育学部附属山口小）

=====